



門真四中だより

「つながる」「わかる」「切り拓く」

令和4(2022)年12月1日

第52号

編集・発行：校長 上甲 尚

今日から「師走」です

時が経つのは早いもので、今日からもう12月です。今年もあと1か月になりました。ご存じのように、12月は旧暦では「師走」といいます。「師走」の意味・語源については、いろんな説があるようです。ちょっと調べてみました。

- ①「一年の終わりで忙しく、師匠もまた趨走(急いで走ること)する月」
- ②「年の瀬の読経のためにあちこちに呼ばれ、法師も馳回り、走る月」
- ③「歳の終わり、『歳果つる月』」
- ④「農事の全てが終わる月。為し果つ月」



など、諸説あるようです。それで、「年末が近づき、僧侶、先生たちが忙しそうに走り回る月」のように使われることが多くなったそうです。もっとも、先生たちは年がら年中、忙しく走り回っているのが現実ですが...

期末テストも終わり、冬休みが近づき、クリスマスにお正月と楽しみな？イベントがあって気持ちがフワフワしやすい時期だと

思います。あまり浮かれすぎず、気持ちを引き締めてやるべき事はきちんとやる、そんな風に毎日の生活を送る健全な中学生であってほしいです。3年生は希望する進路の実現に向けて、毎日コツコツ勉強していきましょう。じっくり力を蓄える冬にしてくださいね。今日から気温もグッと下がるようです。体調管理にも気を付けていきましょう。

十二月のうた

茨木のり子

ふつと
思い出したように
声のない 子守唄
それは粉雪 ぼたん雪
師も走る
などと言って
人間だけが息つくひまなく
動きまわり
忙しさとひきかえに
大切なものを
ぽとぽと 落としてゆきます

忙しさにかまけて、大切なものをぽとぽと落としていないか...。私も自戒したいと思います。

人権週間(12月4日~12月10日)



(法務省のポスター)

毎年12月4日~10日の1週間を「人権週間」と言います。1948(昭和23)年12月10日、国際連合において、世界のすべての人々とすべての国が達成することをめざして30条から成る「世界人権宣言」が定められました。これを記念して、翌1949年から毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」とし、また12月10日を「人権デー」として、世界中で人権を守るための行事が行われています。

そもそも「人権」とは、何でしょうか。ひと言で言うと、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことです。つまり、みんな「自分らしく生きていいですよ」とされているのです。この世に同じ人なんて一人もいません。あなたは、あなたなのです。一人ひとりの違いを認め合い、自分や友だちの良いところを見つけ、それぞれが大切な存在であることを認め合うことが大切です。だから、「いじめ」や「差別」は絶対にあってはならないし、許されない行為なのです。

「世界人権宣言」の第1条には、こう書いてあります。

すべて人は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。人間は、理性と良心を授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

これを子どもを主語にして言い換えると、「子どもは生まれつき、だれもがみな自由であって、いつも分けへだてなく扱われるべきである」ということになります。



「わかるとわかる」

自分は偏見も差別もしてないから関係ない。そう思っている、気づかないうちにだれかの人権を傷つけているかもしれません。話をしてみる。インターネット以外でも調べてみる。そうやってまずは一歩、自分から歩み寄ってみませんか。今まで気づかなかった気持ちが、見えてくるかも。それがきっと、あなたの行動や社会を変えていく。知ることからはじめよう。人権のこと。

(愛知県のホームページより抜粋)

四中には、いろんな国につながりのある仲間がいます。すべての人の存在、「人権」が大切にされる学校にしていきたいです。4日から始まる「人権週間」、自分も友だちも、他の人たちも、一人ひとりがすべて違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることに思いをはせる機会としましょう。もし、あなたの回りに辛い思いをしている人がいたら、そっと寄り添ってあげてください。